

(シャキシヤキとてれんこてれんこ)



朝、スーパーでの買い出しの後、帰宅するために乗った、歩道を舐めるように走るバスの車窓から登校風景をみるともなく眺めていました。

すると面白いことに気がついたのです。

小学生と中学生はシャキシヤキと歩いていました。しかし高校生はてれんこてれんこ歩いています。そういえば大学生もてれんこてれんこ。それが社会人になると一転、再びシャキシヤキ歩き。ところが、定年を迎える年頃の、おんなのひとはシャキシヤキ歩きですが、おとこのひとは何故かてれんこてれんこ歩きをしていることを思い出しました。

「んっ？」

いろいろ考えて、社会人の成年男女や定年の年頃の奥さんは、職業なり家事を持っていて、旦那さんは引退していることから、初めは仕事を持っているかいないかが関係していると思ったのですが、よく考えてみると、小中学生は、勉強はしているけれど、仕事はしていません。むしろ高校生、大学生の方がアルバイト等で仕事をしている。その説だと何か合わない部分がある。不適合、不的確な部分があるような気がしました。

それからまた、バスに揺られながら考えたのですが、何となくそれなりに合うキーワードに思い当たりました。曰く

「スネている。スネているかいないかの差」

高校生と大学生、それに定年退職した旦那さんは「スネて」いるんじゃないだろうか？てれんこてれんこは、スネてふてくされ気味の態度と考えると何となく理解できなくもない。

じゃ、何に対して？なんで？

「社会に対して？就業期間社会で働く活躍している人たちに対して？」

家では、王子様、王女様の如く扱われていたのに、社会からはそう扱われない高校生と大学生。社会にいたときは、同じくお隠れになることを恐れられた天岩戸の天照大神様の如く扱われていたのに、今ではお声すら掛からない旦那様。

一方、小中学生はまだ社会に出るには間があるし、第一まだ、王子、王女様の地位にある。

更に、奥さんは旦那様退位の後は、家の天照大神様に昇格しているし。

「やだ！やだっ！社会だって、僕ら（私たち）のこと、以前みたいに扱ってくんなきゃ、やだっ！扱ってくんないなら、スネてやる。気づいてくれるまで思いっきりふて腐れてやる～！！」

入るに入れない、あるいは、出たはいいけれど当てのない人びと。その人たちが、手間が掛からず日常茶飯的にかろうじて取り得る数少ない表現形態が「すねる」という態度。

当たっているかどうかは定かではありません。しかし、こう考えると僕なりには、とても納得がいくのです。